

令和 4 年 4 月 17 日

登録番号 15 — 017
氏名 京 里美

登録番号 18 — 006
氏名 鷺見 慎一

大阪市地域公共人材活動報告書

1 派遣日時 令和 4 年 4 月 14 日 (木) 19:00 ~ 20:30
(初回ヒアリング)

2 派遣場所 特定非営利活動法人ここから 100

3 参加人員 5人 (依頼団体 1 名、公共人材 2 名、事務局 2 名)

4 活動内容

①依頼内容（派遣通知書より）

小学校校門前の空き家を活用して、子ども及び子育て世代、また在住外国人など若年層や現役世代層を中心とした活動のための場所を提供するにあたり、法人としての全体構想づくり、事業及び財源の計画づくり（資金獲得方法を含む）などを支援してもらいたい。支援に当たっては、法人が持つ資源（ひと、もの、お金）を有効に活用できるよう支援してもらいたい。とりわけ、人生経験豊富なアクティブシニアの方々が多数当法人の事業に参加しているので、活躍できるようしたい。

団体の方が思っている、真の団体のあるべき姿・活動をひきだすようなヒアリングを心がけ、達成目標を具体的にイメージして頂けるよう進めた。

各事業の収益状況の確認、収益化可能な事業、やりたい事業の確認、優先順位を共有した。これにより、派遣回数と各回での支援内容を確認いただいた

②支援内容の確認

初回ヒアリング（経緯、現状、課題、あるべき姿へのヒアリング）
第1回ヒアリング（SWOT分析※メインに団体の持つ資源の棚卸）
第2回ヒアリング（課題の共有とゴールに向けた情報提供）
第3回ヒアリング（目標実現のための課題解決のための仕組作り）

※SWOT分析は、企業や組織の戦略策定に役立つツールの一つで、内部及び外部環境を整理し強み(Strengths)、弱み(Weaknesses)、機会(Opportunities)、脅威(Threats)に分けて分析されます。

③人材としての所感

団体の方自身、様々なご経験を踏まえ、今の事業を立ち上げられた経緯をお聞きし、私自身の15年近くNPO団体さんの支援をさせていただいた経験から、共感することも多く感じました。

経験豊かなスタッフもいる中、やはり、団体の方自身が対応する部分が多く、団体の方の想いが強く、収益化できることまでがボランティアとなっていることが分かりました。まず、収益化できる仕組みを作り、団体のSWOTを特にスタッフの強みをしっかりと分析して、団体の方しかできないことと団体の方以外でもできることを切り離し、団体の方が他の事業の充実化、また、新たな事業への取組に労力がかかるような支援ができたと考えています。

人材としての所感

NPO法人でよくある問題ですが、ボランティアの活動中心で収益化ができておらず継続的に収益をあげる体制になっていないことが事前ヒアリングでわかりました。その反面、人材や人脈はあるのでそこの部分を活かして収益をあげていける体制にもっていかなければと考えています。また、現状の作業効率化も進めていき新たな事業展開を進めていける体制作りの支援もしていきたいと考えます。